Anritsu

帯域制御装置
PureFlow ASシリーズ

DDoS制御機能ライセンス（オプション）



企業エッジで、DDoS攻撃に備える。
既存のセキュリティ対策を補完する、帯域制御型DDoS対策。

クラウドサービスやインターネット接続の利用拡大に伴い、DDoS攻撃によるサービス停止やネットワーク機器への負荷増大が大きな課題となっています。特に、複数の送信元や宛先にトラフィックを分散させる絨毯爆撃型DDoS攻撃は、従来の対策だけでは検知・制御が難しいケースがあります。


PureFlow AS1


PureFlow ASX

PureFlow ASシリーズのDDoS制御機能ライセンスは、企業ネットワークのエッジ領域で攻撃トラフィックを検知・制御し、キャリアサービスやFW、WAFなどの既存対策を補完します。PureFlowが培ってきた高精度な帯域制御技術により、攻撃対象となるサーバやセキュリティ装置への負荷を軽減し、重要サービスの安定運用を支援します。

企業エッジで既存対策を補完

ネットワークのエッジ領域にPureFlowを配置することで、キャリアサービスやFW、WAFなどの既存セキュリティ対策を補完し、多層防御の強化を支援します。

分散して発生するDDoS攻撃に対応

広範囲に分散して発生する絨毯爆撃型DDoS攻撃を高精度に検知し、従来の対策だけでは把握しにくい攻撃トラフィックへの対策を支援します。

集約・階層化制御で攻撃トラフィックを把握

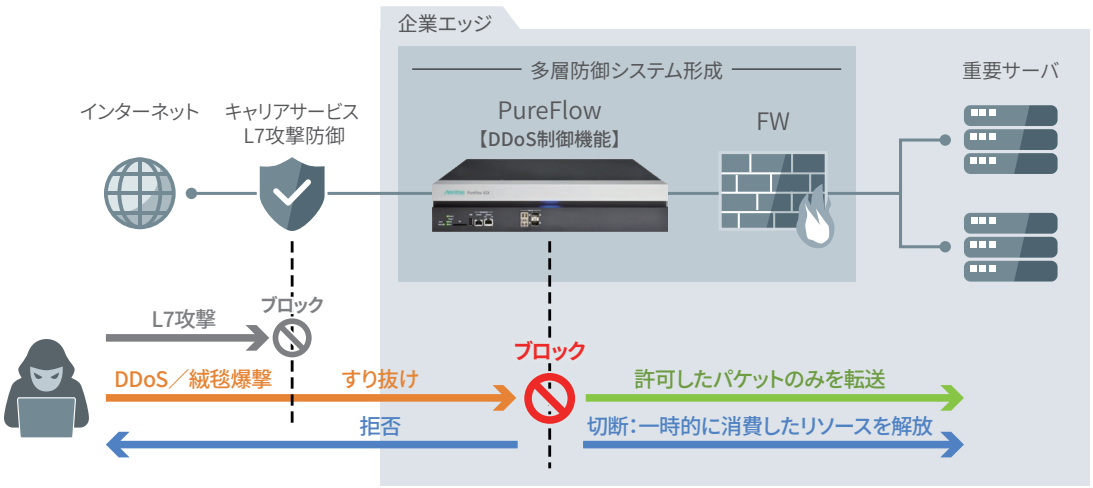
複数の通信を集約・階層化して把握することで、個別の通信だけでは捉えにくい分散型攻撃への対策を支援します。

帯域制御技術を生かした柔軟な対策

ブロックに加え、拒否・切断、帯域制御など、攻撃状況に応じた制御を行います。通信への影響を抑えながら、ネットワークの安定運用を支援します。

DDoS制御機能利用イメージ

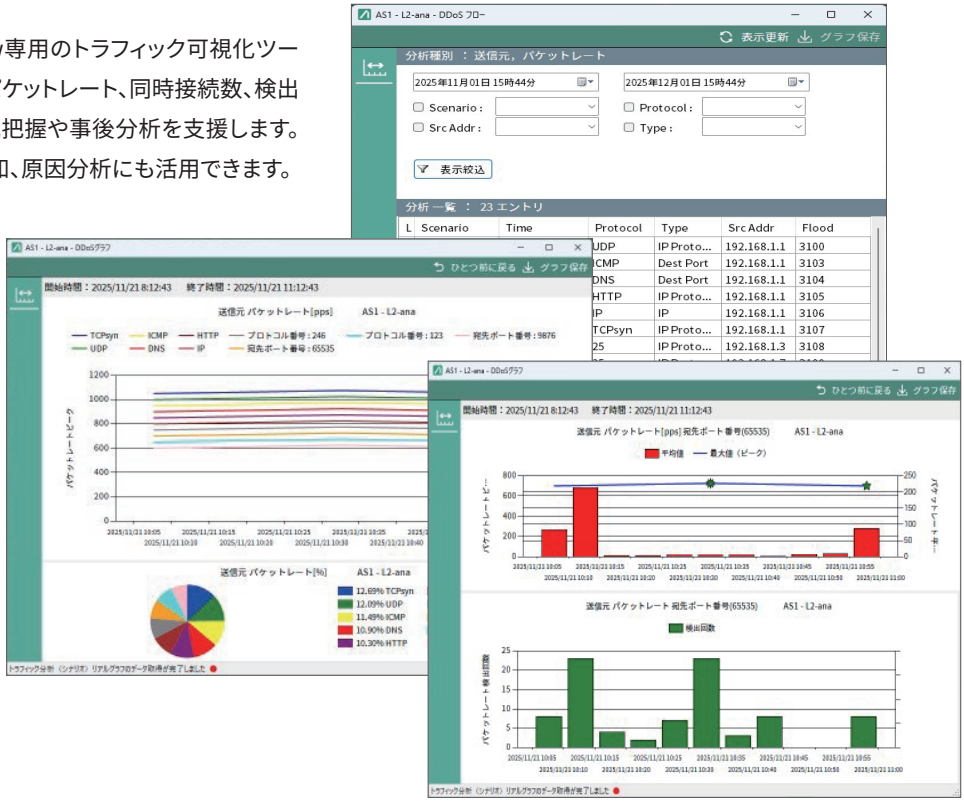
既存対策を補完し、企業エッジでDDoS攻撃に備えます。
PureFlowが攻撃トラフィックを制御し、後段のセキュリティ装置やサーバへの負荷軽減を支援します。



トラフィック可視化ツール

PureFlow Profiler（モニタリングマネージャ3）

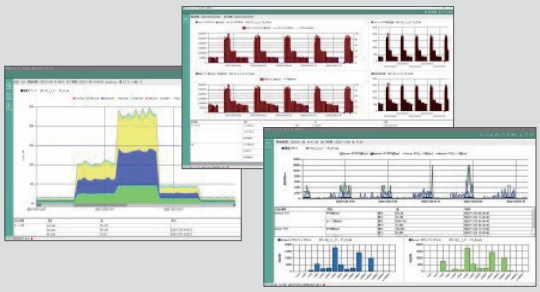
PureFlow Profilerは、PureFlow専用のトラフィック可視化ツールです。DDoS攻撃の発生状況、パケットレート、同時接続数、検出回数などを可視化し、迅速な状況把握や事後分析を支援します。ネットワーク品質の維持、障害検知、原因分析にも活用できます。



- ■ 送信元単位パケットレート
- ■ 送信元単位同時接続数
- ■ DDoS攻撃検出回数
- ■ パケットレートトップ100
- ■ 同時接続数トップ100

PureFlow ASシリーズ 主要諸元

項目		EF7101A PureFlow AS1	EF7102A PureFlow ASX
制御可能帯域幅		1 Gbit/s（100 Mbit/s～要オプション）	1 Gbit/s（100 Mbit/s～要オプション）
最大シナリオ階層		4階層	8階層
最大シナリオ数		最大：4,096（要オプション）	最大：40,000（要オプション）
バイパス機能		あり（1000BASE-Tポートのみ）	なし
電源電圧		AC100-127 V / AC200-240 V 50/60 Hz	
消費電力		100 VA以下、75 W以下	120 VA以下、85 W以下
環境条件	動作温度	0 ～ 40 °C	
	動作湿度	20 ～ 80 %（結露なきこと）	
寸法・質量		212(W) × 375.5(D) × 42(H) mm	436(W) × 370(D) × 88(H) mm
妨害波規制		VCCI-A, JIS C 61000-3-2	
安全規格		IEC 62368-1	



トラフィック可視化ツール

NF7202A PureFlow Profiler（モニタリングマネージャ3）

PureFlow専用の別売ソフトウェアです。
ネットワークの状態を総合的に分析することで、トラフィックの可視化に加えて、品質維持、障害検知および障害分析に活用できます。

アンリツ株式会社

環境計測カンパニー　営業本部
https://www.anritsu.com/ja-JP/network-solutions
TEL: 046-296-6523　〒243-8555 神奈川県厚木市恩名5-1-1

E-PEEF004-00 ddc【公知】